

実地視察教員養成機関の概要

○指定を受けている課程等の概要

機関		奈良保育学院		設置者名		学校法人 白藤学園			
学科等の名称等				指定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況 (令和2年度)			
課程	学科等	設置年度	入学定員	免許状の種類	指定年度	卒業者数	免許状取得者数		教員就職者数
							実数	個別	
教育保育 専門課程	保育科	昭和28年	50人	幼二種免	令和元年度	56人	55人	55人	13人
入学定員合計			50人	合計		56人	55人	55人	13人
備考	・「学科等の名称等」欄は、令和3年4月1日現在の名称・定員である。 ・「免許状取得者数」欄の「実数」欄は各学科等の実人数、「個別」欄は各学科等内の教職課程ごとの人数である。								

## 教職課程実地視察教員養成機関に対する講評

実地視察日：令和3年12月13日（月曜日）

実地視察大学：奈良保育学院

## 【全般的事項】

- 教員組織、教育課程について、教職課程認定基準等の観点からは是正すべき点が確認されたため、この点について速やかに是正すること。

## 【個別事項】

## 1. 教職課程の実施・指導体制（全学組織等）

- 三大教育方針である建学の精神（敬身・敬学・敬事）を基盤とする教員養成に対する理念・構想を具体化・具現化するための全学的な組織や、教育課程・教員組織の充実に、一層努めていただきたい。

## 2. 教育課程（教科及び教職に関する科目）、履修方法及びシラバスの状況

- 「保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用含む。）」の科目の教授内容に関し、生徒自身が表現活動を行う内容で構成されており、事項の趣旨に照らして十分な内容を取り扱っていることが確認できない授業科目が散見された。教職課程コアカリキュラムを参照の上、免許法施行規則に定める事項の趣旨に照らして適切な授業内容となるよう検討すること。また、保育内容の指導法であることが分かる科目名称に変更することが望ましい。
- 免許法施行規則附則第7項を適用して開設している授業科目において、ピアノの基礎技術や、文章の書き方・話し方の基本などが取り扱われており、教科の内容に関する専門的知識を深める内容になっていない。今後、領域に関する専門的事項に移行していくにあたっては、免許法施行規則に定める事項の趣旨に照らして領域の専門的知識を深化させる内容となるよう十分に検討すること。
- 「幼児理解の理論及び方法」の授業科目において、教職課程コアカリキュラムに掲げる「幼児理解の意義と原理」及び「幼児理解の方法」の趣旨に沿った内容を十分に取り扱っていることをシラバスから確認することが困難である。教職課程コアカリキュラムを参照の上、免許法施行規則に定める事項の趣旨に照らして適切な授業内容となるよう検討すること。

## 3. 教育実習の取組状況

- 一部の例外を除き、学院が実習校を全て決定した上で、ほぼ全ての教育実習先に担当指導教員が訪問指導を行うなど、丁寧な教育実習指導が行われている点は評価できる。引き続き、地元教育委員会・学校と連携を進め、訪問指導を含め、適切な教育実習指導に努めていただきたい。

## 4. 生徒への教職指導の取組状況及び体制

- 教職課程検討委員会、就職検討委員会、実習検討委員会を組織してそれぞれの役割ごとに教職指導に取り組んでいる点は評価できるが、これら3つの組織と教育課程編成委員会との関連が不明瞭である。今後は学院全体で教員養成に取り組む体制を整備し、学生への教職指導に取り組んでいただきたい。

## 5. 教育委員会等の関係機関との連携・協働状況（学校現場体験・学校支援ボランティア活動等の取組状況）

- 生徒が、早い段階から学校におけるボランティア活動等を通じて、教職の魅力や教員としての適性等を把握した上で、教員免許状の取得を目指すことは重要であることから、今後も学生に積極的に活動等を推奨するとともに、地元の教育委員会・幼稚園との連携・協働に努めていただきたい。

## 6. 施設・設備（図書を含む。）の状況

- 幼稚園教諭養成のために必要な施設について、整備されている状況が確認された。
- 図書については、教育関連雑誌を配架するなど令和元年度の実地視察からの改善は見られるものの、教育関連図書については冊数が少なく、また、古いものが多数見られた。教職を志す生徒が教育に関する最新の情報を入手できる状況とは言い難く、図書環境の充実を図っていただきたい。

## 7. その他特記事項

- 領域及び保育内容の指導法に関する科目を担当している教員の業績について、担当科目との関連が判然としない教員が散見される。教員養成にあたっては教員自身の専門性を高めることにより、その成果を生徒への指導の質の向上に還元していくことが重要であるため、教員が研究・研鑽に取り組める十分な環境を整備いただきたい。
- 生徒への授業に関するアンケートについて、担当教員に結果を配付するだけでなく、非常勤講師含め各教員が授業内容・方法を改善し向上に努めることができるよう、適切にフィードバックをしていただきたい。
- 全生徒に受検させているピアヘルパー資格について、教職課程との関連が不透明である。全生徒に受検を求めるのであれば、ピアヘルパー資格を取得する意義・目的について丁寧に説明する必要がある。
- 指導大学と緊密に連携を取りながら、教育課程や教員組織等の在り方について、十分な検討を行い、教員養成の充実を図ること。